

# 長距離用赤外線カメラ

2機種をご紹介します。

- ① 携帯用 2.5km、UAVにも搭載可能
- ② 昼夜、8km先の対象物を撮影する

## ① 不審者や遭難者、不審船を捜索する

Newcon Optik社の赤外線センサ (TVS 13M) はハンディタイプで、**長距離 (発見 2.5km、識別 650m、特定 330m)** の偵察や捜索に最適です。高解像度 (640 x 512 pixels) で、レンズは75mmを搭載しています。小型軽量 (380 x 90 x 90mm、1.5kg) で、単三電池を使用します。また、ズームとビデオ出力の機能があります。

ミルスペックのTVS 13Mは昼夜を問わず、煙や霧の状態でも撮影でき、**UAVにも搭載可能です**。洋上の警備、行方不明者の捜索、防衛、侵入者の発見などで利用されています。



## ② 昼夜、8km先の対象物を撮影する

双眼タイプのSENTINELは高解像度のサーマルカメラで、捜索や監視活動に利用されています。SENTINELは非冷却ボロメーターを使用し、対象物とその回りとの温度差を検出し表示します。

SENTINELは昼夜を問わず、遠方の対象物でも判別できます。煙や霧の環境でも、またカモフラージュされた状態でも発見可能です。

なお、115mm レンズ (オプション) を使用すれば、**8kmまでの対象物を発見できます**。国境警備、監視、救助活動、軍事演習に利用されています。



\*仕様は予告なく変更になる場合があります。